

山梨県 桃の会

会報 第95号

取りもどしたい

人間関係が希薄になると

自分だけを大切にする生き方が強まって

人間らしいあたたかい心の交流が失われていく

そういう社会に違和感を覚えなくなってしまうのが怖い

共感や思いやりのない社会は

孤独と不安に包まれて

自分を生かすことが出来なくなる

(子供へのまなざし～)



愛の舞
の
まなざし

孤立や不安は怒りばかりを増幅させる

怒りではなく喜び、悲しみ、苦しみの共有

今社会に求められる

出会う、つながる、わかちあう

K H J 全国ひきこもり家族会連合会 山梨支部

HP <https://momonokai.org> e-mail meri-sannokuni@softbank.ne.jp

ピア Voice

子供、きょうだいに期待すること ～ミニグループトークから～



今回は皆さんに「子供きょうだいに期待すること」を書いていただきました。いつものミニグループトークと違い揺れる想いの文字が溢れました。皆さんのメモを改めて読み返してみると一人一人親としての子供への想いが詰まっていて胸にグツとくるものがあると同時に気付きにくさのもどかしさも感じました。このテーマ(期待すること)は親として心の奥にくすぶる本当の想い「何故このようになったのか」「こんなはずではなかった」という無念さ喪失感が呼び覚まされ、一方で「本当に苦しんでいるのは子供なのだ」と自分の想いを切り替え乗り越えようとする葛藤などを引き出してくれるテーマだったように思います。

＊＊『期待すること』をピックアップしてみました。

笑ってほしい。

コミュニケーションがとれるようになって欲しい(発達特性あり)

物音を立てていいので気配を消さないで!

生き抜いて欲しい

何とか早く自立して欲しい 仕事をして欲しい 結婚も・・・

本人の意思を尊重しいつか動き出すと待っている

なにも出来ないことに本人が焦ると親である自分も何かしなくてはとってしまう

周りと同じであることを望んでいた 普通に生きて欲しい

一人では出来ないだろうと先回りしていた

色々な人と関わって欲しい

＊＊『期待』はどのように変化していったか・・・

ただ見守っていたい

自分が安心したいだけだった

一番苦しいのは親ではなく本人だったと気付く

親として子供に何を期待されているのか知りたい

・・・その他に

子供が生まれた時から期待したことがない

何故このような事になったのか未だにわからない

親となって子供が元気に育つてと願わない親はいないと思います。それも期待でしょう。

期待は親にとっては認識しにくく、子供にとっては逆に敏感に感じ取るものなのかもしれません。

お互いのその葛藤の中にこそ人としての学びがあるように思いました。 Shinohara



気になる・・・当事者に向けられた言葉

当事者会に参加させてもらった時「働かないのは憲法違反だ」とある場で言われ自分の価値観が揺らいでしまったとの話を聞いた。その言葉は「何故あなたは働かないのだ」というメッセージを突きつけられたことになる。だからそれを聞いた当事者の胸に突きささり心が揺さぶられたのだ。働くことは生きていく上にとっても大事であり必要なことであるが、働いていないことが憲法に違反しないことは言うまでもない。参加されていた某新聞社の記者の方は、憲法は権力を持つ者に対して向けられているものであり庶民を守るものであること、そして自分の職場で若い人が定着しづらい現実があり、仕事を続けて貰えるような環境を作らねばならないと話された。生きていく為に働くことはごく当然のことであるが、その当然であることが出来なくなってしまう人達がこの社会に増え続けているこの社会に着眼したい。相手を変えようとするのではなく彼らのメッセージに謙虚に耳を傾けこちらが変化していこうとする柔軟性、発想の転換がこれからの社会に求められるということだろう。彼らに問題があると考える前に彼らが社会に恐怖感を持ち自分を否定し続けるのは何故なのかを考えてみたい・・・そう思う。

(レモンティー)

令和4年度「やまなし就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」

「山梨ひきこもり支援情報交換会」が開催されました。

▶「氷河期世代支援プラットフォーム」

プラットフォームは山梨労働局、県、経済団体、労働団体、支援機関などから構成される。令和元年から取り組みが始まり4年目を迎え市町村プラットフォームの窓口設置が21市町村完了。氷河期世代で就労に繋がりにくい人はひきこもり、障がいがあってもなくても人間関係が重要ポイントであると感じている。達成数を掲げてそれ目指すことはある程度必要なことかも知れないが数値ばかりにとられると中身の無いことに気付かなくなる懸念も感じている。

30代後半から40代にかけての再就職はかなりハードルの高いものがある。企業側、ハローワーク等の関係機関に更なる理解と配慮をお願いしたいと思う。

▶山梨県ひきこもり支援情報交換会

オンラインと会場に別れての開催であった。毎年感じることであるが情報と意見交換が活発化して、こういう場がもっと生かせないかと感じる。市町村の窓口担当者は家族や当事者の対応に大変苦慮されているはずであると思うからである。4年度のひきこもり支援の国の予算は19.2億円で昨年度より6.2億円増である。毎年予算は増加している。今年は新たに市町村にひきこもり支援センター設置とひきこもり支援ステーション事業(仮称)が考えられているようである。何とか家族やひきこもる当事者なりの生き方が模索出来るための相談場所になって欲しいと願っている。



当事者 Voice



7月当事者スペース報告

7月17日(日) 13時~16時 甲府市総合市民会館会議室4 参加当事者、経験者4名 関係者2名
桃の会関係者1名 初参加者1名

*チェックイン

*グループトーク・・・最近の良かったこと、面白かったこと、楽しかったこと、就職氷河期、自分を責めないようにするには、自分を認められるか、なりたい自分はあるか、どんな自分になりたいか

**世話人たちの感想(今回は2名)

コロナの感染者が増えてきているという事もあり、参加者はいつもより少なかった。・・・ということで、普段よりも一人ひとりの発言時間を長く設けて思っていることや、人の悩みに対しての自分の考えや行っている対策などを話してもらった。その中で、こちらの問い掛けに対して発言してもらうことで、本人が気づいていない事に焦点をあててみたり、本人自信を見直すきっかけになっていた。

前回から今回のスペースの間に当事者がどう過ごしてきたのかという話を聞いて、もがきながらも

「生きているんだ」と、そういう力強さを感じたし、それは精神が擦り切れる作業にも思える。みんなではないがギリギリのところですと「生きて」いて、それが長く続いている事実を改めて感じた。

今回は参加者が少なめだったこともあり、一人ひとりが時間をとって話すことができました。

話しをするだけでも、何か考えがまとまったり、気持ちが落ち着いたりすることもあると思います・・・ 米長



テーマトークの報告 7月9日(土) 13時~ 福祉プラザロビーにて

**** テーマ 『フリーテーマ』** 参加者 当事者4名 親2名

いつもお世話になっております。世話人のたきざわです。

本格的な夏を迎えましたね。皆さんは熱中症対策はしっかりできているでしょうか?・・・

この猛暑の中ではありますが、今回のテーマトークも何人かの参加者が集まってくれました。

本当にありがとうございます!

さて、7月のテーマは『フリーテーマ』。各々で自由に話をしました。話題の数の少なさはありましたがその分、一人ひとりの素直な思いが聞けたという印象がありましたね。

人にはそれぞれに個性がありますが、同時に“対等”であるべき同じ人間なのです。そんな考えを巡らせまた一つ気づきを得られた時間でした。

桃の会・都留 からの報告 7月11日(月) いきいきプラザ都留にて

今年になり初めての開催でしたが久しぶりに皆様のお顔が見られて良かったです。支援者の方4名、家族の方1名と新しく当事者の親子さん2名(それぞれ引きこもっていらっしゃる息子さん、娘さんをお持ちのお母様)が来て下さいました。

お二人とも悩んでいらっしゃる、話して心が軽くなって良かったと話されていました。

まだ悩みを抱えだれに話したら良いのか分からない方々が沢山いらっしゃると思います。

微力ですが一步一步進めて行きたいと思います。

野武





桃の会 8月の活動

8月ミニグループトーク、当事者スペース、桃の会・都留、休止のお知らせ

連日の猛暑にコロナ感染の拡大の中、皆さま如何お過ごしでしょうか。

開催する予定でございましたミニグループトーク、当事者スペース、桃の会・都留を
コロナ感染拡大の為お休み致します。突然のことで誠に申し訳ありません。

8月13日(土)のテーマトークは予定通り行います!

連日の猛暑もあり体調にはくれぐれも気を付けてお過ごし下さいませ。

9月には開催できることを願っております。

篠原

▶ テーマトーク 8月13日(土) 13時~16時 福祉プラザロビー 参加費無料 お申込み不要です
テーマ『優劣について』

*** コロナ感染防止のためマスクの着用のご協力をお願い致します



お知らせ

フォーラムの開催 (山梨県福祉保健部健康増進課主宰)

日時 令和4年 9月10日(土) 14:00~16:00

会場 東京エレクトロン韮崎大ホール

内容 基調講演 パネルディスカッション 演者 山田ルイ 53世

***.....

◆ 9月の予定 ミニグループトーク 9月18日(日) 10時~ 甲府市総合市民会館

当事者スペース 9月18日(日) 13時~ 甲府市総合市民会館

テーマトーク 未定

桃の会・都留 9月12日(月) (予定) いきいきプラザ都留ミーティングルーム

*** 6月以降は開催場所が 甲府市総合市民会館 に変わります



募集しています!! 皆さんの声を募集しております! 日々の想いやちょっとした出来事など大歓迎です。

どうぞお気軽に桃の会事務局のメールアドレスまたはFaxでお送りください。お待ちしております。

お問い合わせ 桃の会事務局 e-mail / meri-sannokuni@softbank.ne.jp Fax 0266-78-3742 篠原

Tel 0551-47-4040 080-9400-4187 井口

桃の会・都留事務局 e-mail / hiroko.samasara@icloud.com 080-1282-2576 野武